

12月の主な行事

1日 3年生実力テスト

1、3、4日 1・2年教育相談

11日 租税教室

25日 終業式

26日～1月7日 冬休み

<教育目標> 自律 自啓 自尊 他尊

東雲

<http://kanuma-school.ed.jp/j-higashi/>

【発行者】

栃木県鹿沼市立東中学校

住所 鹿沼市府中町393

電話 0289-62-7225

FAX 0289-62-7226

校長 斎藤美智雄

全校企画2020完成

十月二十九日(木)に全校企画2020、完成披露セレモニーが行われました。天候にも恵まれ、オーケストラ部が華を添えたセレモニーは成功となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、部活の大会や運動会・しのめ祭などの学校行事が中止となり、また世間的にもコロナ関連の暗いニュースが多く、どこかふさぎがちでした。このような状況下でも、顔を上げて前進させたいと考え、そのためのきっかけを模索しました。密を避ける意味から全校生で集まる行事は出来ません。そこで、生徒一人一人の力を集結させ、自分たちの思いを表現する折り鶴アートに挑戦する企画を考えました。

三年生の実行委員を中心に、何度も会議を重ね、自分たちの新たな決意と希望を込めたメッセージ『全てが私達の青春 今こそ心を一つに つかめ明るい未来』が決定しました。実際の制作では、一人一人がコロナ終息の願いや医療現場で働いている人たちの感謝の気持ちを折り紙に書いてから、鶴を折りました。ークラス一文字を担当し、職員・生徒で折った鶴の総数は二万四千五百五十二で、木枠は、鹿沼の認証杉を使いました。

二十四文字のメッセージには、できるだけ多くの方に感謝の気持ちを届けることができればとの願いも込められています。展示後は千羽鶴に変え、地域のお世話になっている機関にお届けしたいと考えています。

生徒会担当

事務室から・・・毎月一五日が学校集金の引き落とし日になります。

生徒感想

今年はたくさんの方の行事がなくなってしまう、とても残念だと思っていた時に、この行事をやると聞いて、とてもうれしかったんです。鶴文字が完成するまで、たくさんの方の苦勞を重ねました。最後には全クラス、全学年で合わせた鶴文字を見てすごく感動しました。今まで一番よい思い出を作れたと思います。とても楽しかったです。(一年生)

この行事を通して、少しずつクラス一人一人の気持ちが一つにまとまっていったように思います。最後まで自分の役割を全うし、一人一人の気持ちのこもった折り鶴アートができて達成感がありました。東中全生徒、先生方の協力で、東中の新しい一つの思い出ができました。(二年生)

この行事を全校生徒で協力して成し遂げることができて、とても楽しかったです。私達の青春とあり、楽しみにしていた行事がコロナの影響で中止になってしまいました。私達も、それでも全てが私達の青春だと思えばこれから先に未練なく踏み出せる気がしました。そして、このコロナ禍で素敵な企画を考えてくれた人達に心から感謝したいです。(三年生)



駅伝部 襷をつなぐ

十月二十三日(金)、鹿沼地区駅伝競走大会が行われました。今年もトラックレースでの大会となりました。男子Aチームが二位、Bチームは三位。女子Aチームが優勝、Bチームが五位の成績を収めることができました。十分な練習時間が確保できずでしたが、生徒達が掲げた「県大会出場」という目標を達成することができました。

十一月七日(土)には、カンセキスタジアムでの県中学校駅伝競走大会に出場しました。新しい競技場で、心地よい緊張感と共に、清々しい走りを見せてくれました。結果は男女とも十四位。参加者全員が大幅にタイムを更新し、楽しく走り、笑顔が輝く素晴らしい大会になりました。

駅伝と言えば、『襷の重み』。襷を繋ぐことで、本人も信じられないくらい力が発揮できる。それが駅伝の醍醐味です。仲間と一つの目標に向かって励まし合い競い合い、自分自身もチーム全体も心身共に強くなる。日に日に成長する姿に、私達大人の方が力をもらいました。生徒達の心の中にある東中の襷は、来年に向けて、しっかりと繋がっています。

そんな素晴らしい生徒達を支えてくださった家族の皆様、そして、東中を見守り応援してくださる地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

駅伝部顧問



二年生 看護出前授業

今年は、新型コロナウイルス感染症防止の意味からマイチャレンジを中止せざるをえませんでした。これに変わり、生徒達に仕事に触れる体験はできないかと考え、「看護の出前授業」を行いました。

十一月九日(月)、十日(火)の二日間にわたり、栃木県看護協会から、佐藤様、和気様の二人を講師としてお招きし、看護職のやりがいや魅力、現在の医療現場の様子についてお話を頂きました。また聴診器を使った体験もさせて頂き、仕事について考える上で貴重な時間となりました。

生徒感想

二年学年主任

看護師の国家資格を持つている方が働く場所はたくさんあり、病院や診療所もちろん、大企業の健康管理室、研究所などで様々な人に役に立っているんだと改めて感じる事ができました。

いじめ防止強調週間

本校では「いじめ防止基本方針」を策定し、生徒一人一人のいじめ防止への理解や認識を深め、いじめのない、楽しく思いやりのある学校生活を送れるように努めています。また全校を挙げ、いじめの撲滅と豊かな人間関係の構築に役立てたいと「いじめ防止強調週間」を設定しています。

昨年度はこの期間中に企画として「ハイタッチ運動」や「交流三本線」などを実施しました。今年も「しのめりーダンス」(生徒会役員や各学



級委員長)が中心となり、十一月三十日から始まる「いじめ防止強調週間」の企画を検討しています。コロナ禍において、活動に制約の多い中ですが、感染防止の観点を踏まえて安全を確保した計画になるように、知恵を出し合っています。この強調週間を通して、日常の生活がより楽しくなり、思いやりのある学級へと育つように、引き続き支援していききたいと思っています。

生徒指導担当

一年生 人権講話

十一月十一日(水)に、S・I・P・E・C(栃木県LGBT支援団体)の佐藤様、熊本様の2名を講師としてお招きし、人権教育講演会を開催しました。今年度の人権講話は、LGBTに視点をあて、性の多様性について、体験談をもとにしてお話を頂きました。

この講話を通して、これからの現代社会を生きていくにあたり、私達が理解しなければならぬこと、大切にしていかなければならないこと、自らの生き方や在り方などについて考える良い機会となりました。

講演後の生徒の振り返りでは、「私たちが使う『普通』という言葉も、相手によつては悩ませてしまうかもしれないので、気をつけていきたい。」「性の多様性も個性なので、個性が生きる社会になってほしい。」「家族や周りの人の絆も大切なことがわかった。」「などの感想があり、生徒達はしっかりと心にとめてくれたことが分かりました。今後も互いの人権を尊重し、誰にとつても明るく楽しい東中学校となるよう生徒の支援に努めていきたいと思えます。御家庭におかれましては御理解と御協力をお願いします。

人権教育担当

特別支援教育

「特別支援教育」と聞いてどんなイメージが思い浮かびますか。障害のある児童生徒に対して、特別な教育を行っていると思像する方が多いかと思えます。実は特別支援教育とは、障害の有無にかかわらず、全ての生徒一人一人が本来もっている力を最大限に発揮し、生徒の自信が育つように、個々の教育的ニーズに応える支援をします。本校で行っている特別支援教育を御紹介します。

(一)通常学級における特別支援教育

通常学級に在籍している生徒の困り感を解消する支援

(二)通級指導教室(通称…アンダンテ)

通常学級に在籍している生徒のニーズに合わせ、週に一〜八時間、個別または小グループで学習支援

生活や学習の困難を改善し、情緒の安定を図り、安心して学校生活が送れるよう支援

(三)特別支援学級(通称…クレッシェンド)
少人数で構成されている学級集団
将来の社会的自立につなげることを目標に支援

○基本的な生活習慣や社会規範の定着のための支援

○個々の能力や進路希望に応じた学習を支援

○望ましい人間関係や自我の確立の支援

○通常学級との交流学习を通し社会性の育成

生徒一人一人に必要な支援を行うために必要なシステムが整っています。生徒のニーズに合わせた支援を行うには、保護者の正しい理解と協力が必要です。引き続きよろしく願います。

特別支援担当

